

第 2 回 上流遊水地群地内利活用検討会

地内利活用の方向性（案）

目 次

1. 地内利活用の方向性について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 各遊水地の地内利活用の方向性イメージ・・・・・・・・・・ 2

令和 7 年 2 月 1 9 日

東北地方整備局 福島河川国道事務所

福島県

鏡石町・矢吹町・玉川村

1. 地内利活用の方向性について

- ▶ 地内利活用の方向性については、住民・企業意向調査や作業部会における意見等を踏まえ、地域振興への貢献度、周囲の環境への影響、利活用の実現性、維持管理の持続性等を考慮し、方向性を検討します。

【検討項目】

1 地域振興への貢献度

遊水地内の施設が、遊水地周辺における**生業や雇用の創出**、**にぎわいや交流機会の創出**など、地域産業や経済に貢献するか。

2 周囲の環境への影響

創出される遊水地内の空間や施設が、遊水地周辺の**風景と調和し**、**自然環境を損なわないか**。

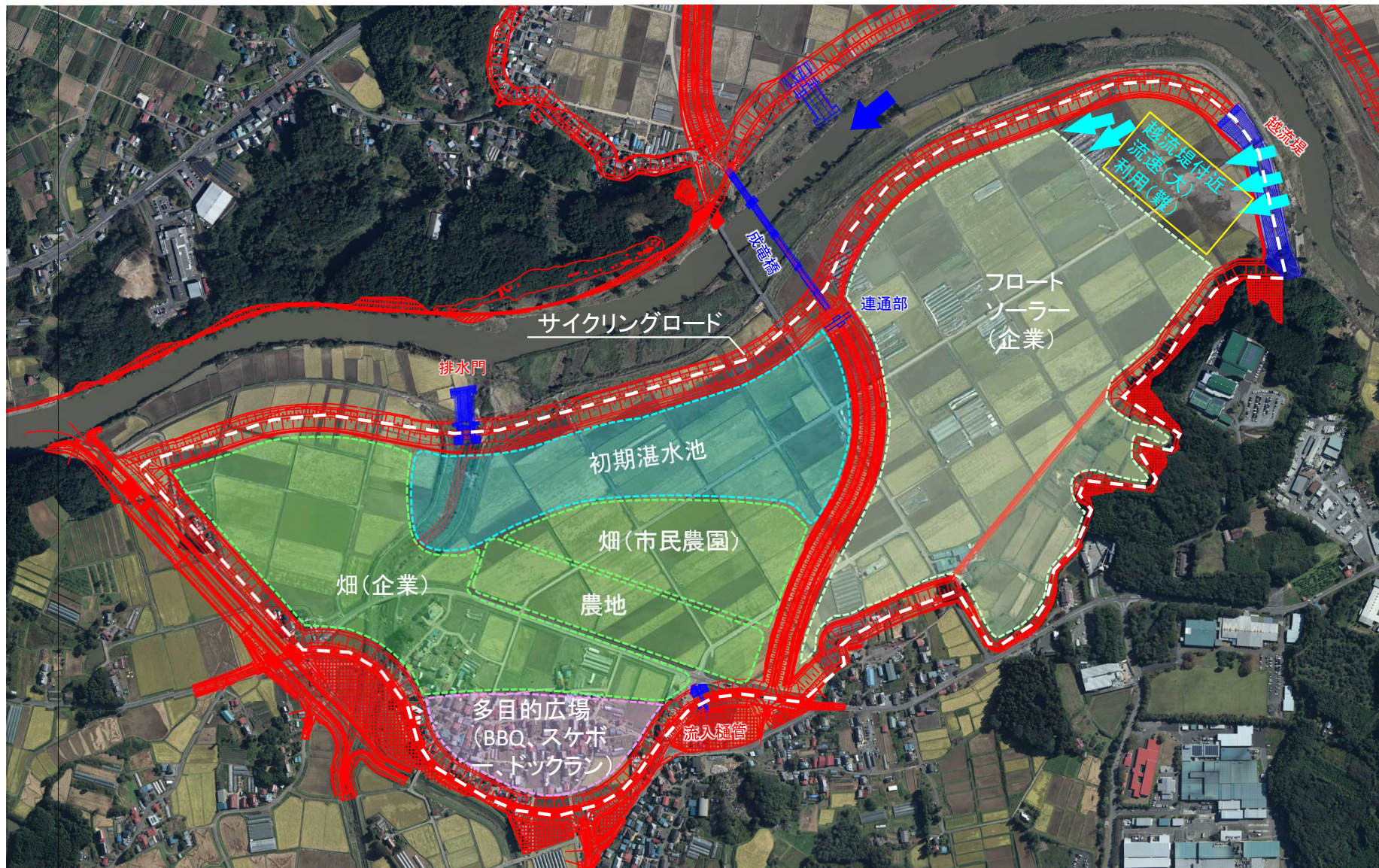
3 利活用の実現性

利活用のテーマを実現するために必要な遊水地内の**施設の整備に掛かる費用**や**整備の際の構造上、法制度上の条件**、**事業主体の有無**など、事業を実現するにあたっての可能性はどうか。

4 維持管理の持続性

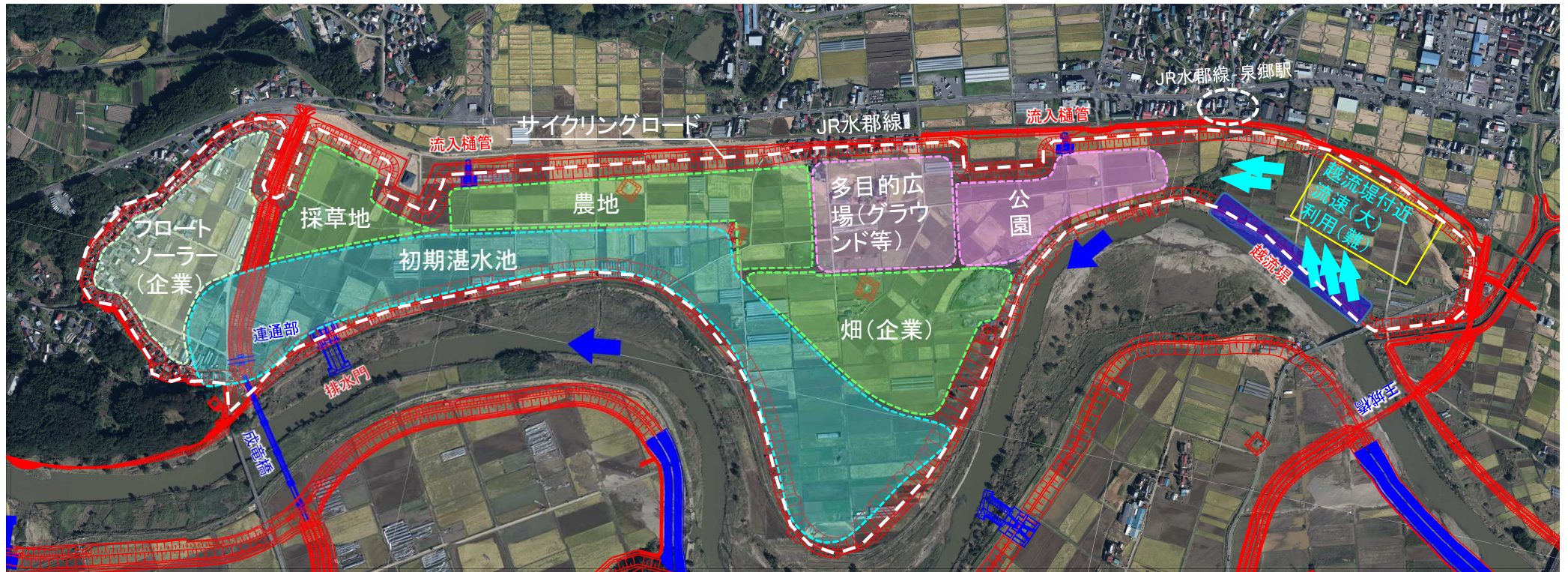
創出される遊水地内の施設が、**将来にわたって継続的に利用**され、**適正な維持管理や運営**が行われることが想定されるかどうか。

第1遊水地 利活用イメージ ※検討段階でのイメージであり規模や内容は確定ではない。



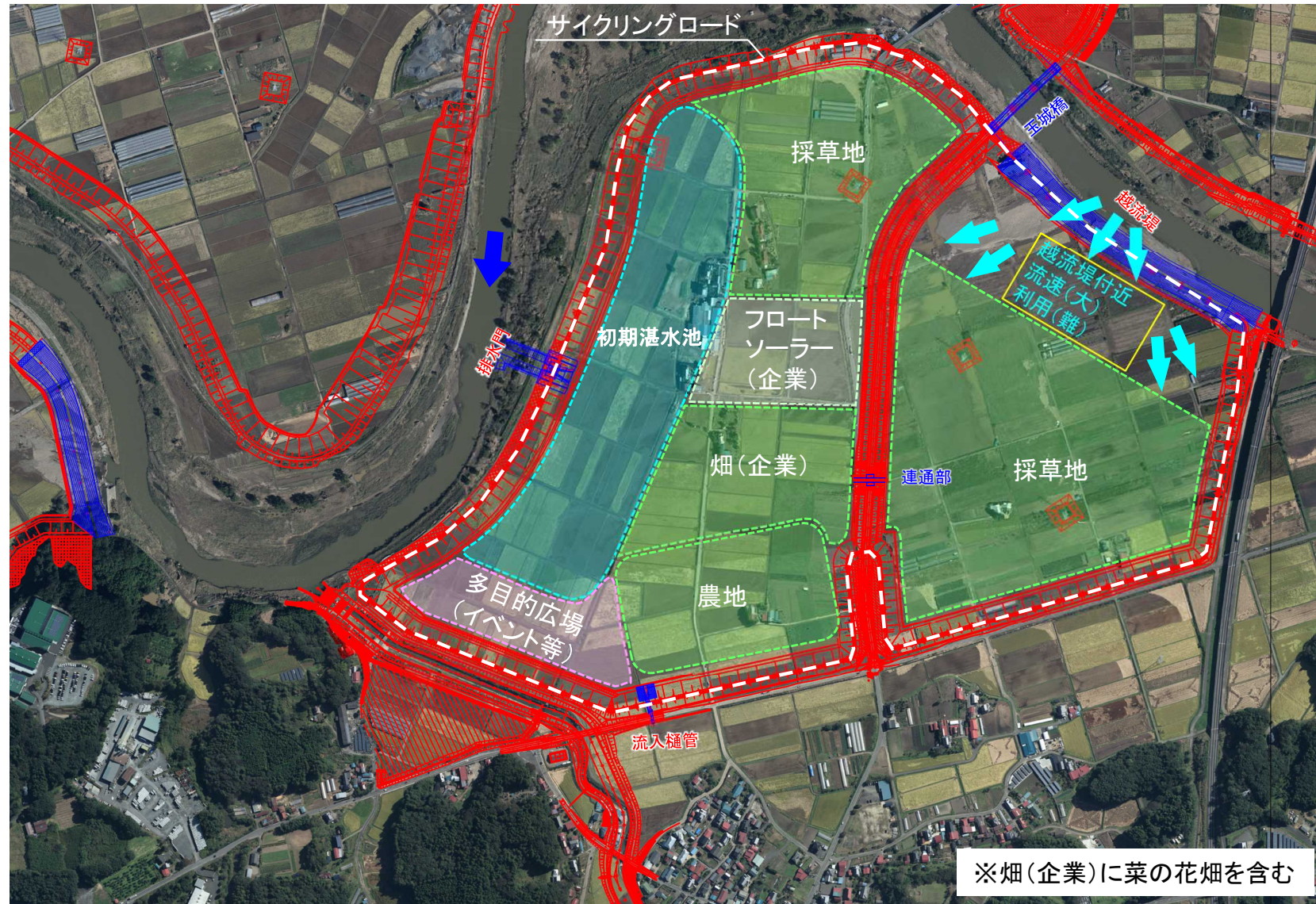
本資料は、利活用の方向性やゾーニングを検討しやすいよう、イメージを示したものであり、これにより規模や具体的な内容を決定させるものではない。
また、初期湛水池も確定したものではない。

第2遊水地 利活用イメージ ※検討段階でのイメージであり規模や内容は確定ではない。



本資料は、利活用の方向性やゾーニングを検討しやすいよう、イメージを示したものであり、これにより規模や具体的な内容を決定させるものではない。
また、初期湛水池も確定したものではない。

第3遊水地 利活用イメージ ※検討段階でのイメージであり規模や内容は確定ではない。



本資料は、利活用の方向性やゾーニングを検討しやすいよう、イメージを示したものであり、これにより規模や具体的な内容を決定させるものではない。
また、初期湛水池も確定したものではない。

水田



均平・畦畔整形：耕作者
表土戻し：国
基盤整備：国

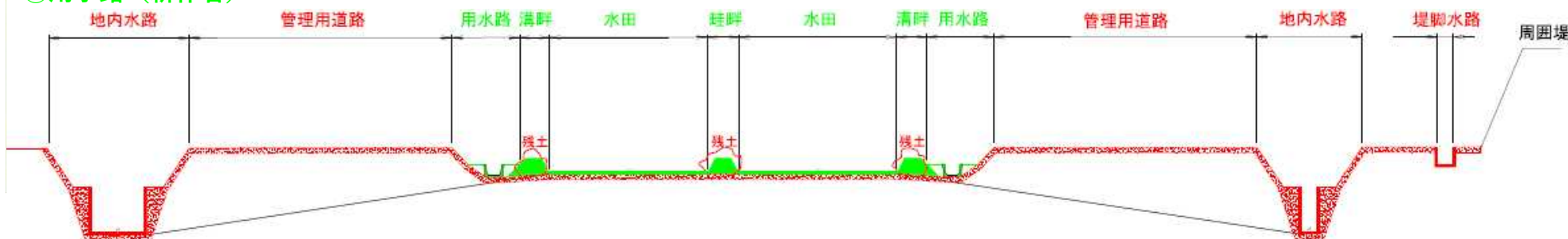
管理用道路：国

- ①表土剥ぎ (国)
- ②基盤整備 (国)
- ③残土処理 (国)
- ④表土戻し (国)
- ⑤均平・畦畔整形 (耕作者)
- ⑥用水路 (耕作者)

維持管理：耕作者

用水路：耕作者

断面イメージ



畑（市民農園）



耕作：耕作者

表土戻し：国

基盤整正：国

断面イメージ

耕作：耕作者

表土戻し：国

基盤整正：国



維持管理：耕作者

採草地



管理・放牧：耕作者

表土戻し：国

基盤整正：国

断面イメージ

管理・放牧：耕作者

表土戻し：国

基盤整正：国

維持管理：耕作者

畑（企業）



耕作：企業

表土戻し：国

基盤整正：国

断面イメージ

耕作：企業

表土戻し：国

基盤整正：国

維持管理：企業

フロートソーラー



ソーラーパネル：企業

基盤整正：国

断面イメージ

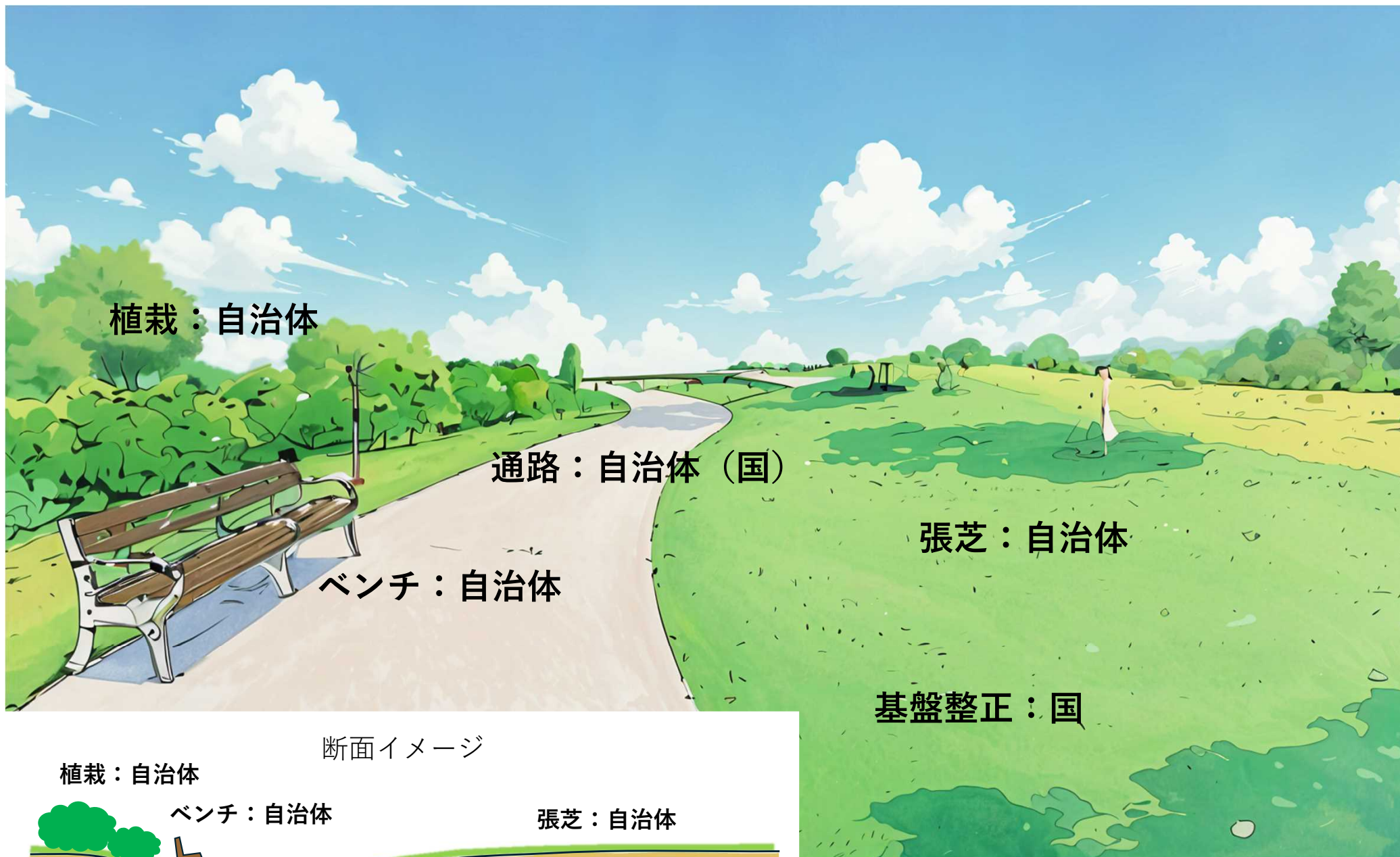
ソーラーパネル：企業



基盤整正：国

維持管理：企業

公園



断面イメージ



維持管理：自治体

多目的広場（グラウンド等）



断面イメージ

広場舗装：自治体

張芝：自治体

基盤整正：国



維持管理：自治体

多目的広場（イベント等）



基盤整正：国

断面イメージ



基盤整正：国



維持管理：使用期間により判断